

建築系学生奨励事業

第 21 回 卒業設計コンクール展 開催

埼玉建築設計監理協会の法人化 30 周年を機に始まった卒業設計コンクール展は、一般社団法人へ移行した協会の主要な活動として位置づけられています。コンクールは、その趣旨に賛同いただいた多くの企業・団体、共催・協賛団体の協力により運営されています。

例年、作品を展示し公開審査を行ってありますが、コロナウイルス感染対策として、本年はオンライン開催とし公開 Web 審査を行うことといたしました。8 大学 36 名の力作が応募し、6 月 1 日の第 1 次審査で 10 作品を選考、6 月 27 日の最終審査（オンラインプレゼンテーション）がラフにさいたまで行われました。

今後、埼玉県知事賞、準埼玉賞受賞の作品については、関連した自治体へのプレゼンテーションや展示を行う予定です。卒業設計での提案を基に、産官学が連携して地域の問題解決や賑わい創出ができることを期待しています。



□ 開催主旨

昨今の都市計画や建築デザインに於いても、ICT 革命時代にふさわしい斬新な発想が求められています。そのような中、新しい世紀の第一線で活躍が期待される建築系学生の能力向上、育成を図る目的で、次代を先取した意欲ある作品を募集し、若い学生達の考える創造価値と熱意を奨励します。特に、当協会としては、「埼玉」を分析し、再構築を試みることににより街づくりの活性化を図り、地域を変える起爆剤となるような夢溢れる作品を待っています。

□ テーマ、募集作品

(1) 埼玉をテーマとした作品（埼玉県知事賞対象候補）

(2) 自由作品

上記の分類による都市や建築デザインをテーマとした個人作品の卒業設計を対象とします。

□ 受賞者および作品

埼玉県知事賞 1 作品… 3.(1) の作品の中で最も優れた作品（副賞として海外研修旅行目録・30 万円相当）

準 埼 玉 賞 1 作品… 3.(1) の作品の中で優れた作品（副賞として 5 万円相当の目録）

埼玉建築設計監理協会賞 1 作品… 募集作品の中で最も優れた作品（埼玉県知事賞受賞作品を除く）

副賞として海外研修旅行目録・20 万円相当）

準埼玉建築設計監理協会賞 1 作品… 募集作品の中で優れた作品〔埼玉県知事賞受賞作品を除く〕

副賞として 5 万円相当の目録

< 全作品対象 >

特別審査員賞 3 作品… 各大学の先生による審査とします（副賞として 3 万円相当の目録）

埼玉県住宅供給公社賞 1 作品… まちづくりを題材とした作品（副賞として 3 万円相当の目録）

さいたま住宅検査センター賞 2 作品… 住宅を題材とした優れた作品（副賞として 5 万円相当の目録）

JIA 埼玉賞 3 作品… 優秀な提案、建築家に相応しい作品（卒業設計を行った年度の大学学科の所在地が埼玉県内である応募者の中で優れた作品は本人の意思の確認の上、JIA 主催全国学生卒業設計コンクールに 3 作品程度推薦します。）

JIA 埼玉賞は JIA 埼玉会員が独自に出し、1 次審査を書類選考、2 次審査をオンラインによるプレゼンテーションにより選考いたします。

総合資格学院賞 2 作品… 社会に飛び出す若駒のエネルギッシュな作品（副賞として 5 万円相当の目録）

日 建 学 院 賞 2 作品… 来場者の投票により選ばれた作品（副賞として 5 万円相当の目録）

奨 励 賞 適宜

□ 審査員 作品出展校から各学部の先生 1 名、埼玉県（1 名）、さいたま市（1 名）、大手建設業（1 名）

（一社）日本建築学会関東支部埼玉支所（1 名）、（一社）埼玉建築士会（1 名）、（一社）

埼玉県建築士事務所協会（1 名）、（公社）日本建築家協会埼玉地域会（JIA 埼玉）（1 名）

（一社）埼玉県建設産業団体連合会（1 名）、埼玉県住宅供給公社（1 名）

（一財）さいたま住宅検査センター（1 名）、当協会賛助会員（1 名）、当協会会員より数名

□ 主 催 （一社）埼玉建築設計監理協会

共 催 （一社）日本建築学会関東支部埼玉支所、（一社）埼玉建築士会、（一社）埼玉県建築士事務所協会

（公社）日本建築家協会埼玉地域会（JIA 埼玉）、（一社）埼玉県建設産業団体連合会

埼玉県住宅供給公社、（一財）さいたま住宅検査センター

協 賛 （一社）埼玉県建設業協会、（一財）埼玉県建築安全協会、生和テクノス(株)、松坂屋建材(株)、(株)東京黒板製作所、総合資格学院、日建学院、大成建設(株)、(株)田中工務店、柏木建設(株)、吾妻工業(株)、(株)佐伯工務店、和光建設(株)、スミダ工業(株)、(株)島村工業

後 援 埼玉県 さいたま市 テレビ埼玉



スクリーンに投影された作品を審査する先生方



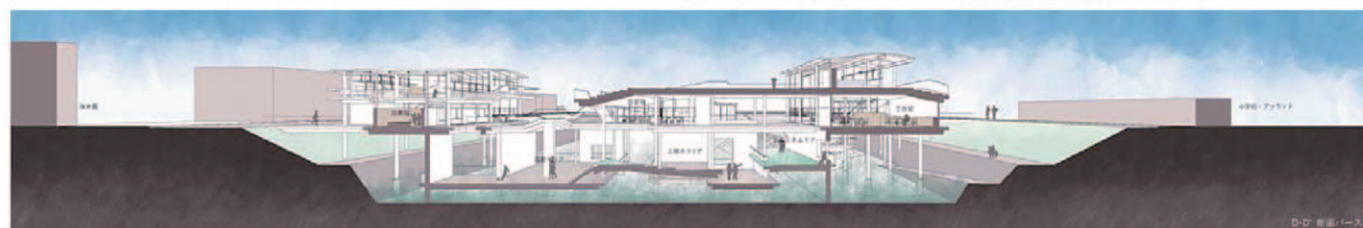
オンラインプレゼンテーションに参加した皆さん

埼玉県知事賞

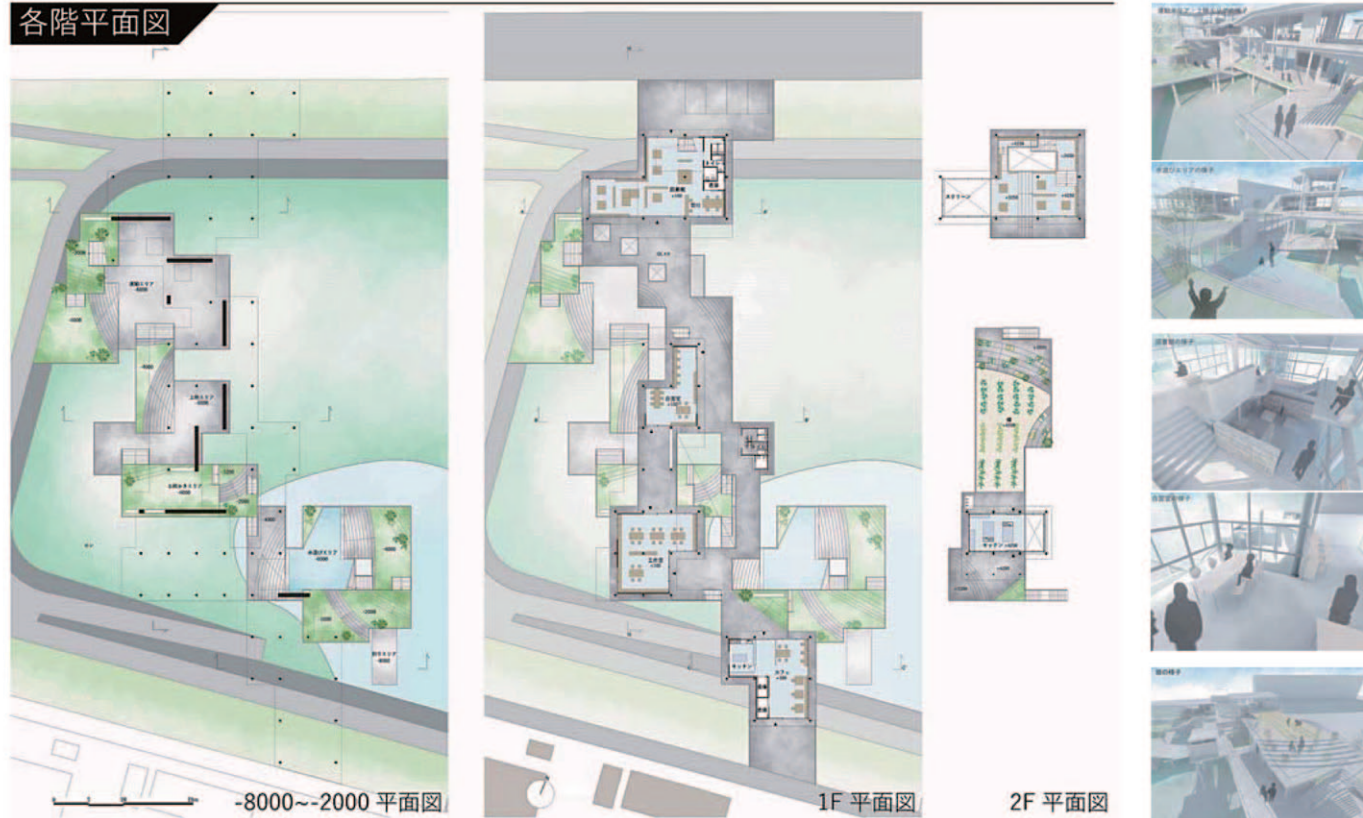
日本工業大学工学部生活環境デザイン学科 神谷 政光
ヒトダマリ 調整池を活用した立体公園

埼玉県三郷市では、水害対策として調整池の整備が進められてきたが、調整池は災害時に機能する一方、平常時には街に大きな空白を生んでいる。本計画では栄調整池を対象とし、近隣住民の利用を想定した立体公園を提案する。

栄調整池は第二大場川、小学校、保育園、住宅地と隣接している。断面的に見ると地面より -4m のレベルに多目的広場があり、-8m のレベルが底部となる。地面より上のレベルには図書館、自習室、工作室、カフェ、キッチン、畑を設けた。地面より下のレベルには様々なレベルのスラブを設け、変形させたり壁面との組み合わせで活動の幅を広げている。調整池を日常的に利用することで、災害に対する意識を持ちながら交流が生まれる。



各階平面図

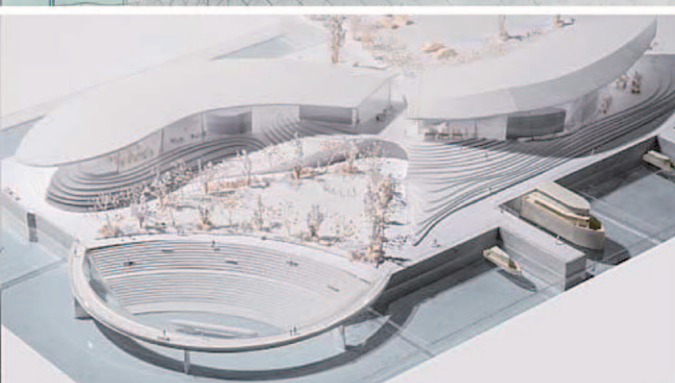
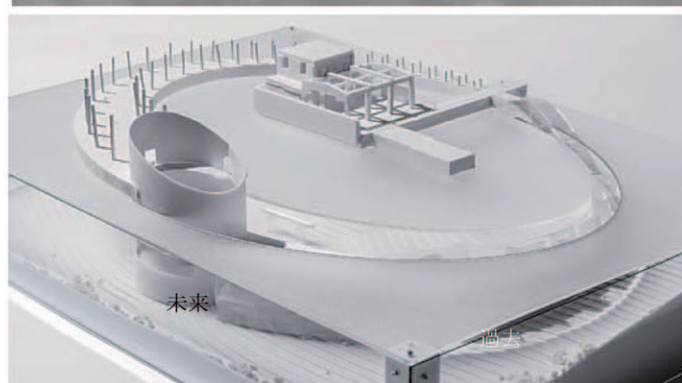
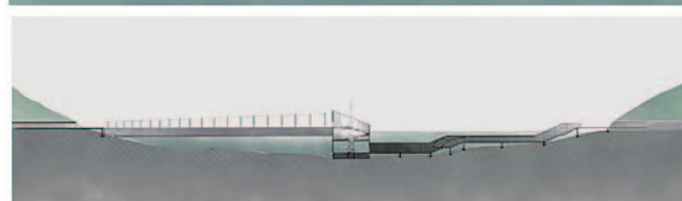
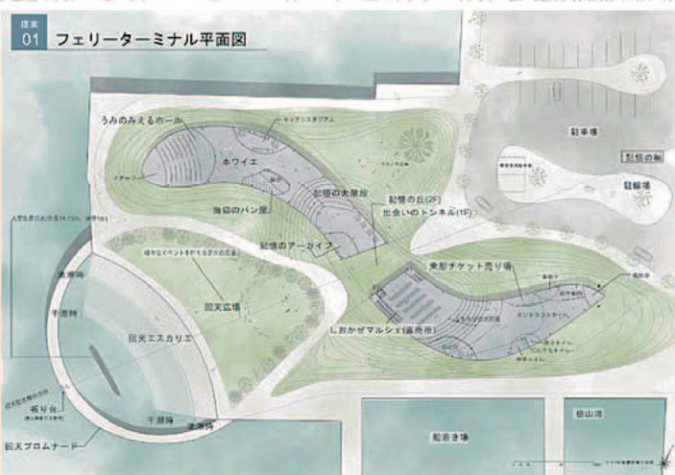
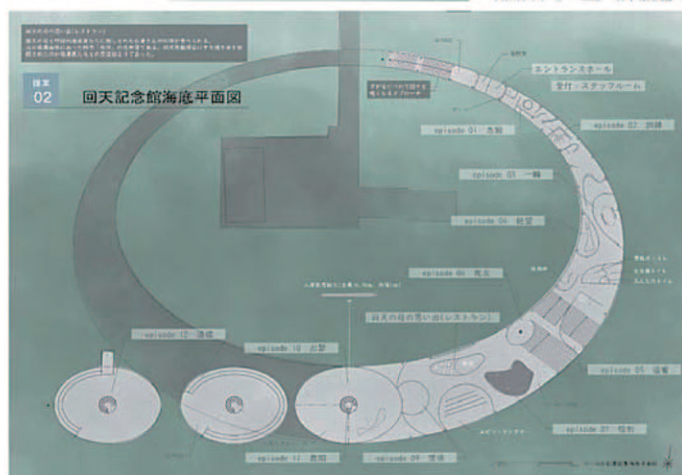
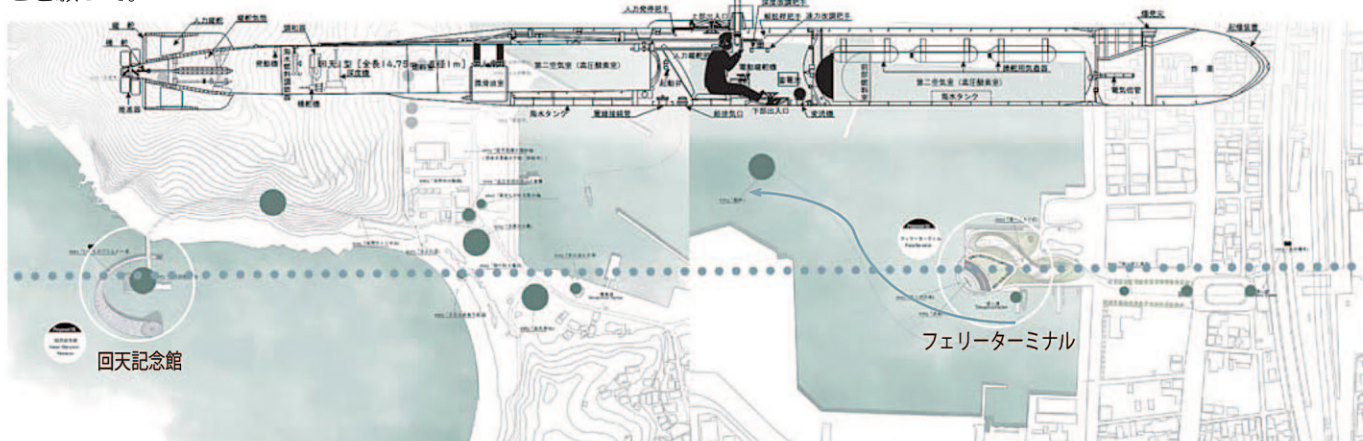
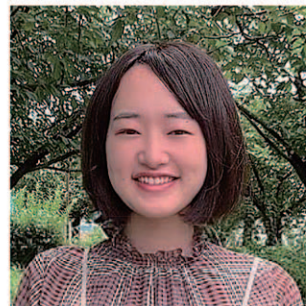


埼玉建築設計監理協会賞

東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 磯永 涼香
記憶の欠片をそっとすくう -人間魚雷「回天」の歴史を巡る出会いと別れの島-

山口県周南市大津島。ここにはかつて太平洋戦争末期に日本海軍の特攻兵器の 1 つである人間魚雷「回天」の訓練基地が設置された。しかし戦後 75 年を迎え、戦争の記憶は風化の一途をたどっている。そこで私は人間魚雷回天と出会い、回天搭乗員の想いを知り、記憶を継承していくストーリーを構築する。提案としては、11 の感情空間を巡る回天記念館とそこへ導くためのフェリーターミナルを設計し、人間魚雷回天を巡るストーリーを作った。

設計の概要としてはフェリーターミナルは道の駅、市民交流館が併設された複合施設であり、その敷地内には潮の満ち引きと共に見え隠れする人間魚雷「回天」を設置する。人々と人間魚雷「回天」との出会いの場だ。また、回天記念館には 4 つの特徴がある。①海底に沈む記念館②搭乗員の気持ちを疑似体験する 11 の感情空間（展示計画）③亡くなった搭乗員を表す 106 本の石柱④搭乗員の生死の境目を表す記憶の塔。記憶を継承することで二度と同じ過ちを繰り返さないことを願って。



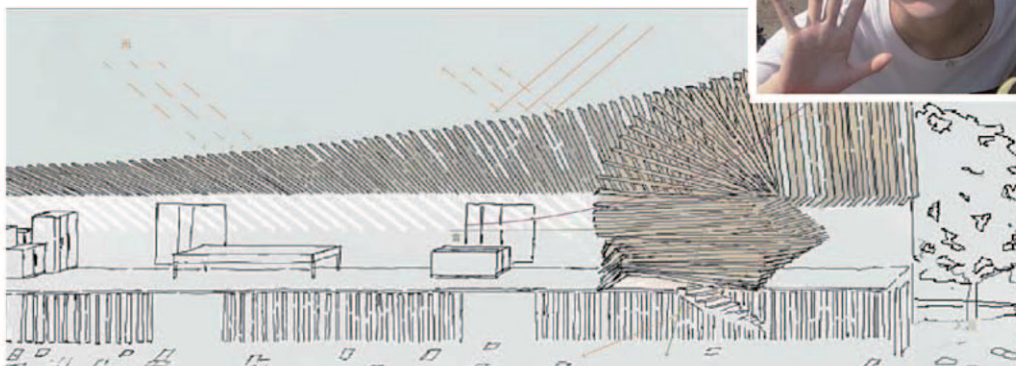
準埼玉賞

日本大学生産工学部建築工学科 荻野 汐香
新菓子屋横丁徒弟制

菓子屋が立ち並び多くの人々で賑わう菓子屋横町。しかし、菓子職人の減少や継承者不足から、本来の“菓子屋横丁らしさ”が薄れてしまった。それに伴い菓子屋横丁に訪れた人々の行動も食べ歩きに限定されてしまっている。菓子屋横丁の根源である徒弟制に着目し、再定義し空間に落としこむ。そして、菓子屋横丁で実際に働いている人々・地域住民にアンケートをとり、菓子屋横丁がどのような空間であるべきかを再確認し、パターン化してしまった人々の行動と空間に奥行きを与える。



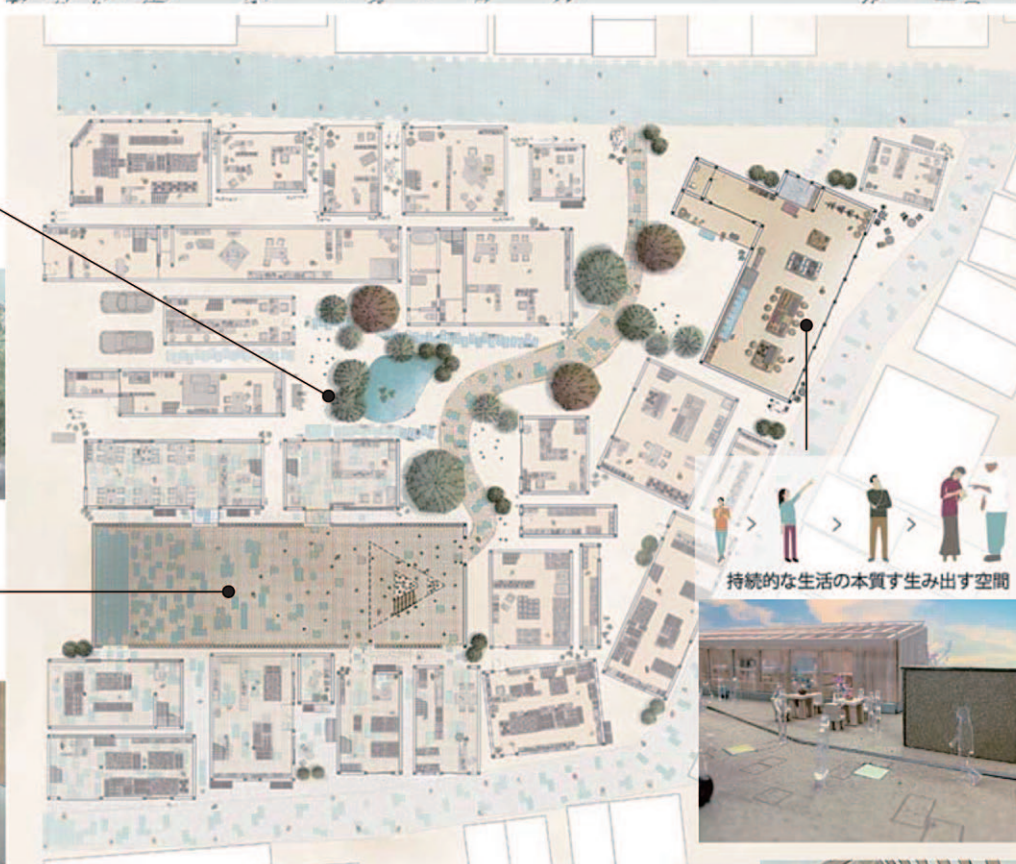
今後
違う環境下同士の弟子が1つの空間で学ぶことで技術
や伝統の継承のみならず多様なコミュニティが形成さ
れる。



気持ちに余白を与える空間



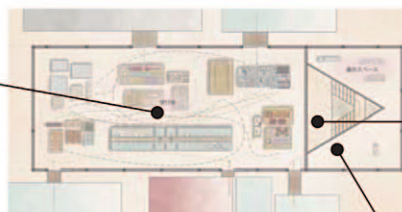
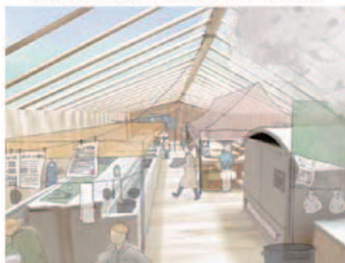
古さと新しさを調和する空間



持続的な生活の本質を生み出す空間



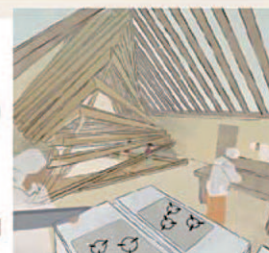
持続的な生活の本質を生み出す空間



伝統と創造から導かれる空間



幼心を奮い起こす空間



準埼玉建築設計監理協会賞

日本大学生産工学部建築工学科 鶴巻 愛瑠
もっけみち、みっけ。-商店街に浸透し、息づく暮らし-

火災により一つとなって再出発した商店街は、四方を壁に囲まれ、隣に居るはずの隣人が見えない。「もっけみち」では時間の流れの中から育まれ紡ぎ出されてきた生活と、生活そのものを未来に繋ぐ居場所が相互に浸透する。

住人達が作った既存の躯体に、二重屋根をかけることで換気の機能を付加し、生活できる環境を作る。これにより住人達が作り上げた環境での記憶を残しつつ、止まったままの生活景が再び動き出す。

二重屋根の下で生活の中にふとお互いの存在や想いを感じながら商売し、「もっけ」の気持ちを思い出す。



05. もっけみち | 浸透する道

店舗と店舗の間にある壁を一部取り除き隣どうしを繋ぐ一本の道（もっけみち）を作る。

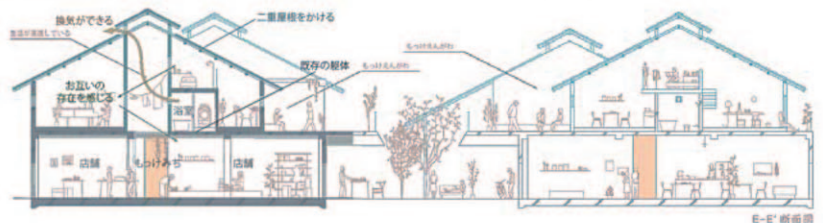


「行ったことのないお店に気軽に入れない…」
「歩いているだけでワクワクする商店街にしたい」

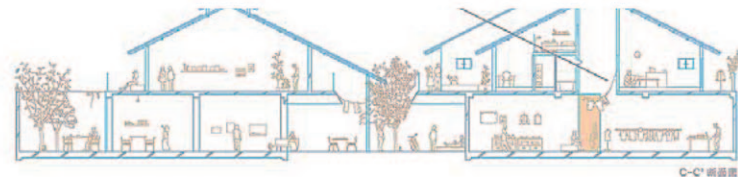
07. 平面図 | 1階



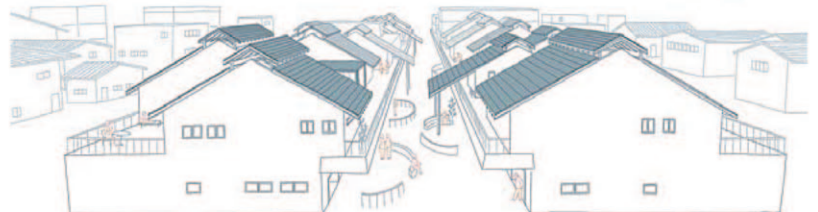
07. 平面図 | 2階



E-E' 断面図



C-C' 断面図



特別審査員賞 さいたま住宅検査センター賞

芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 細谷 奈央
新たな文化を継承していく "がーでんストリート"
- 商店街を核とした大宮一番街の再生デザイン -

近年、大型商業施設やネットショッピングが増加し、利便性や経済性が重要視される状況下で、衰退している商店街が多い。しかし、地域に根差した商店街や個店には、訪れることで体験できる出会いや会話、感動がある。それらはネットや大型チェーン店では得難いものである。また、大都市中心部では緑や自然、また地域固有の文化に接する機会も減りつつある。

そこで、大宮の多様な文化、生活、環境を取り入れた多様な「がーでん」を設け、商店街を再生することを提案する。それにより、街に出ることの新たな価値や楽しさを多くの人たちが体験・共有でき、まち本来の魅力や持続性を高めたい。



特別審査員賞

日本大学生産工学部建築工学科 井上 了太
有終の塵

東京港内にある廃棄物埋立処分場の残余年数は 50 年程となっている。量に限りがある埋立処分場の残余年数を少しでも延ばすためには、ゴミ減量、3R への一層の取り組みが必要不可欠である。

そのリミットのあるゴミ問題を逆算して”終息した”仮定してみる。仮定の未来ではゴミが減少し、必要数が減少して余った清掃工場をコンバージョンすることが想定される。そこで現在からコンバージョンされることを内包した清掃工場を提案する。それにより、街の人々がゴミを減らす行為が同時に清掃工場の姿を変えていく意味を持つ。



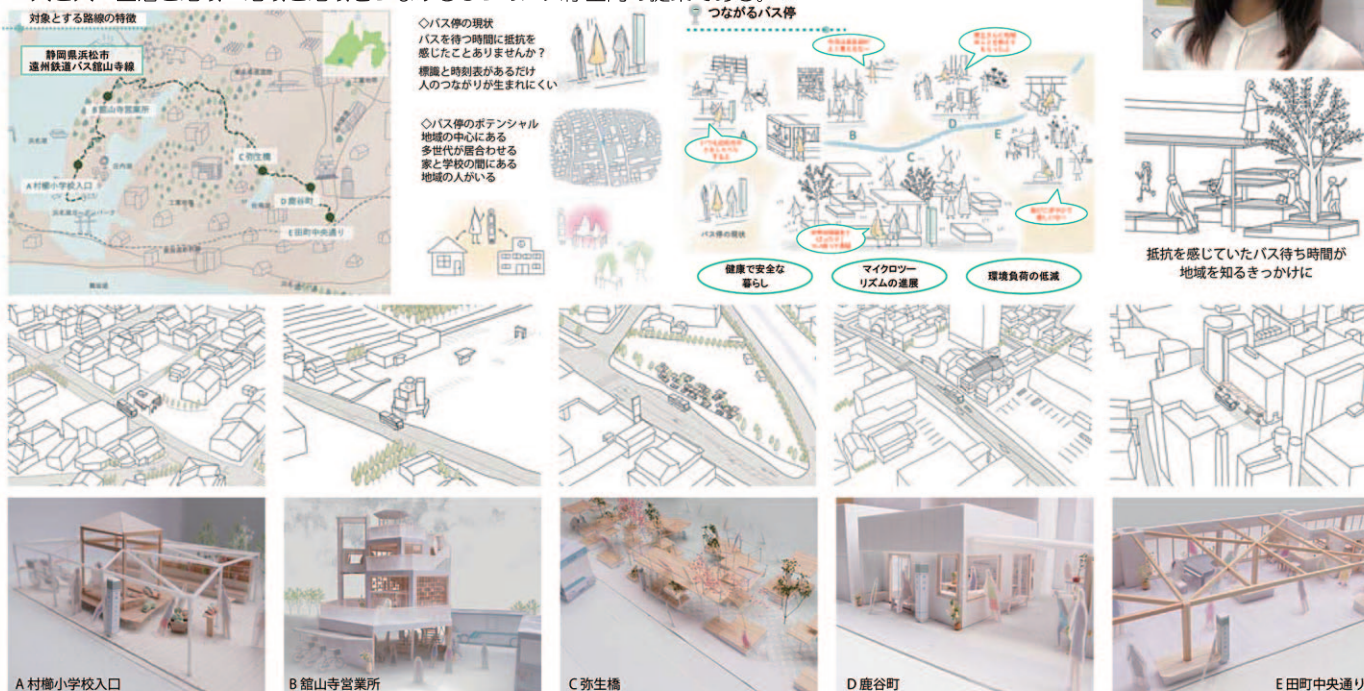
特別審査員賞 JIA 埼玉最優秀賞

日本工業大学工学部生活環境デザイン学科 牧野 なな子
つながるバス停 -地域を映す寄り処-

人々の日常動線上にあり、多世代が自然と集まるバス停には身近な公共空間として高いポテンシャルがあると考えた。そこで遠州鉄道バス館山寺線の5つのバス停を選び、バスを待つ空間と一体化した地域の拠点を計画した。

各地域の今ある活動を丁寧に汲み取り、それをサポートするしつらえを取り入れることで、一人ひとりが自らの生活や地域を見つめなおすきっかけを与えたい。地域の活動を映した人々の活動は、沿線の観光地に向かう人々を惹きつけ、立ち寄る機会を与えるだろう。近年注目を集めるマイクロツーリズムの拠点としても期待できる。

人と人・生活と地域・地域と地域をつなげる5つのバス停空間の提案である。

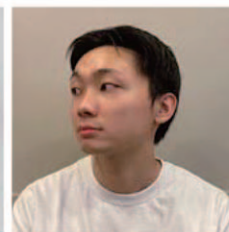
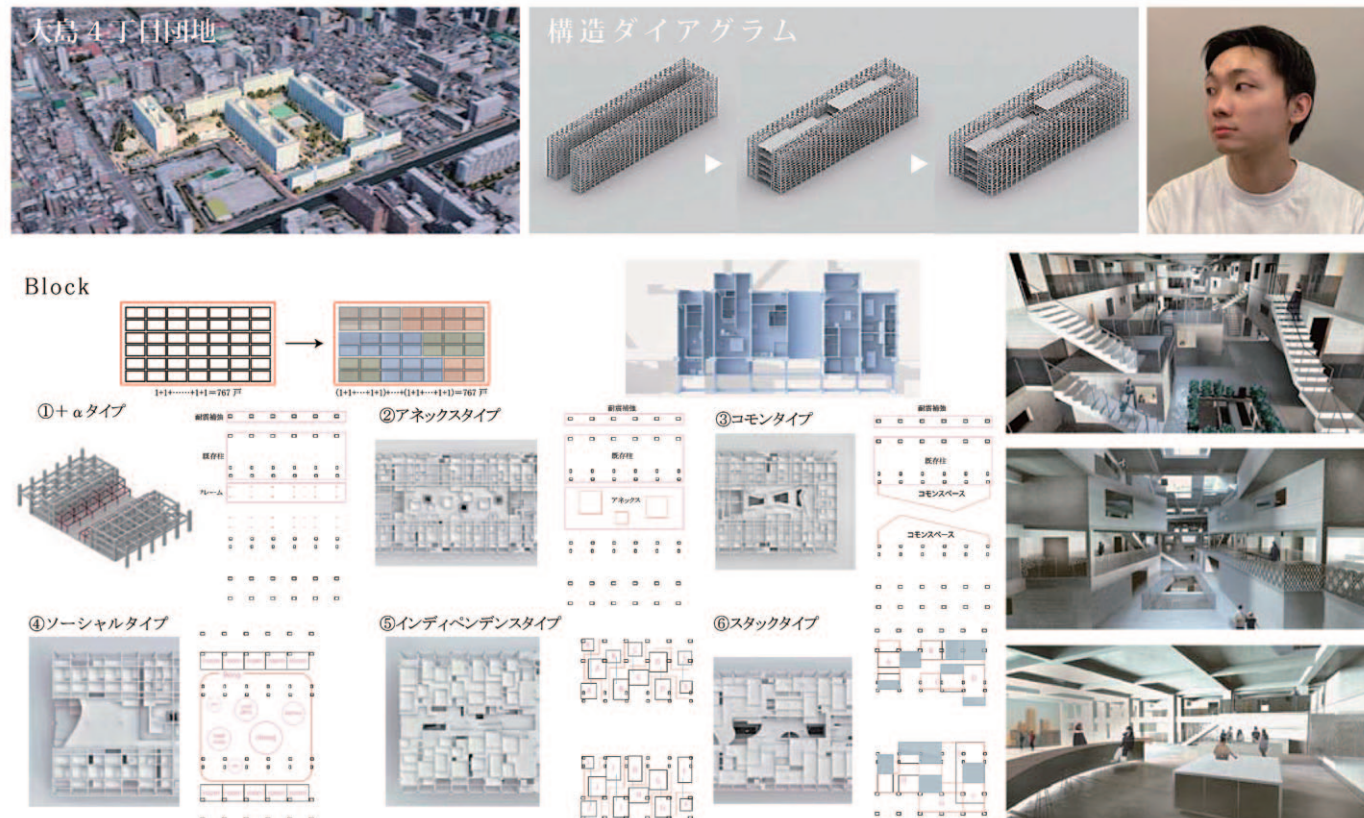


抵抗を感じていたバス待ち時間が地域を知るきっかけに

埼玉県住宅供給公社賞

工学院大学建築学部建築デザイン学科 外山 真永
生きられた集住体を目指して -大規模住宅団地改修計画案-

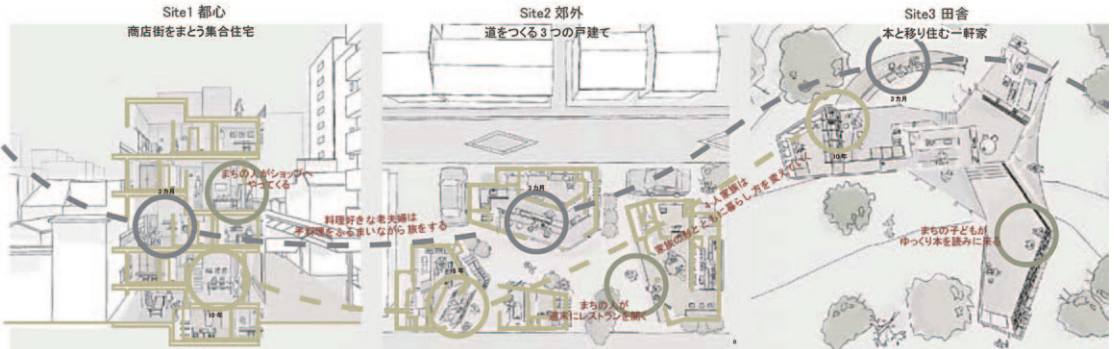
本提案は経済的合理性に依存した集合住宅という形式からの脱却と 20 世紀の歴史的遺構となりつつある集合住宅団地のこれからを描くものである。団地の持っている一般的な集合住宅とは一線を画した特徴を生かし、1 住戸から解放された、集まって住まうかたちとしての集住体を提案する。



さいたま住宅検査センター賞

工学院大学建築学部建築デザイン学科 向井 菜萌
空き家にならない家を目指して

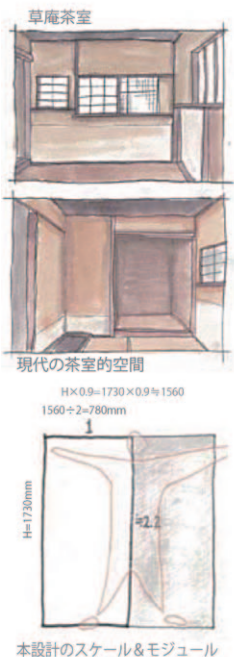
家という建築は、いつか使われなくなってしまうものなのだろうか。本来の住宅寿命が 100 年にのぼることに対し、ひと世代の家族が求める家の時間は 50 年。余った多くは誰にも使われず空き家となって空白の時間を送る。空き家になってしまった家を活用させるだけでなく、空き家にならない家を始めからつくりたいだろうか。役割を変えるいくつもの建築を点在させ、そこを人が流動的に移り住んでいくことで、これから建てる家が使われ続けていくことを目指したい。



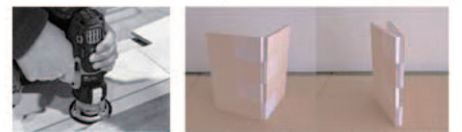
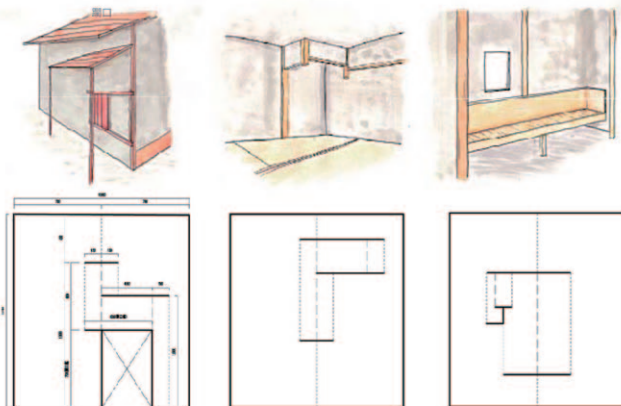
JIA 埼玉優秀賞

ものつくり大学技能工芸学部建設学科 喜多 秀長
「己の空間」の形成 -折り紙建築をベースとした小空間の展開-

新型コロナウイルスという未知の脅威の登場によって、当たり前とされていた「外出する・人に会う」ことがリスクとなり、ウェブ会議などのオンラインコンテンツの普及が加速した。しかしそれは、オンライン端末をはじめとした情報を媒介として、多少なりとも「個人の時間・空間」の犠牲の上に成り立っているものではないだろうか。さらに加速する情報社会の中で、多様化する人やモノとのつながり方。複雑化する人・モノとのつながりから一旦距離を置き、情報の過剰な負荷から遠ざかることで、「己の再認識」を促す。そんな小さな居場所の形成を可能にする、折りたたみ・展開可能なツールの提案。本制作では、パターンの一例として「草庵茶室」の、躍口や部材の縦横のライン等の要素を抽出し、デザインする。屈折部は屏風の「紙蝶番」を参考に構造とデザインの両立を図った。また、それを実際に人のスケールで作ることで、空間の仕上がり感を五感で感じられる。



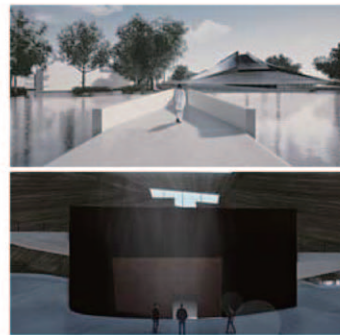
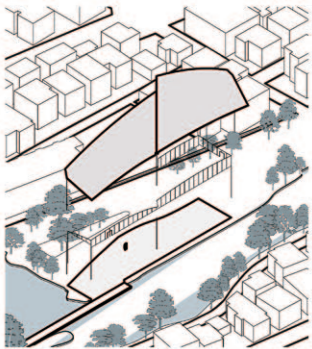
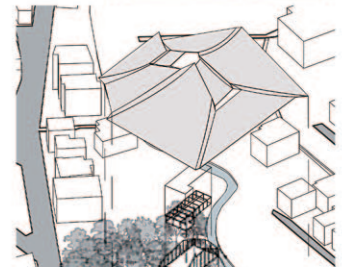
「草庵茶室」から抜き出したモチーフの抽象化・図面化・立体化



J I A 埼玉優秀賞

東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 近藤 亘
 吊う大地 -人と地をつなぐ葬祭場-

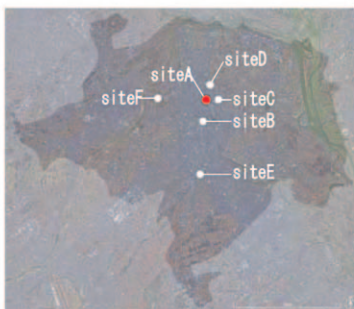
現在行われている葬儀は徐々に変化しており、本質を失う、形骸化が起きていると感じました。近年馴染みが無くなりつつある宗教的な要素を取り外し、自然との関わりを持たせる新たな弔い方を提案するとともに、繊細な空間を作り上げることで、葬儀の本質である弔うということを見直すきっかけになることを試んでいます。



総合資格学院賞

東洋大学理工学部建築学科 清水 海斗
 市役所の再編成 -地域密着型市役所-

行政がまちの現状を知っていないことに疑問を持ち、行政が地域に密着したまちを作る為は何ができるかを考えた。そこで、馬場正尊先生は「都市をリノベーション」の中で行政が街に近づくために「課」が街に分散するというアイデアを述べた。その考えより、いくつかの「課」が分散した「分散庁舎」を人の集まる場且つ都市の境目となる敷地に配置し、まち全体を包み込むような行政施設を計画した。「課」が分散し、面積が空いた本庁舎では市役所の使われ方を再考し、本庁舎を合わせた計6つの行政施設は、「市民広場 + 行政施設」という考えで設計をし、市民と行政の距離が近いまちを作ることができる。



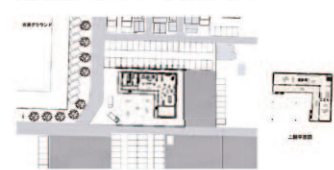
siteB- 小江戸蔵里
産業振興課、文化財保護課
地域関係の課、観光課



siteC- 初雁球場
こども関係の課 1/3、地域教育支援課
農業関係の課 1/2、公園管理課

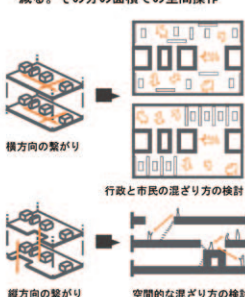


siteD- 市民グラウンド
高齢者関係の課 2/3、こども関係の課 1/3



siteA- 川越市役所

空間アイデア
機能が分散し本庁舎での必要面積が減る。その分の面積での空間操作



siteE- 岸町ふれあい広場

高齢者関係の課 1/3、医療関係の課 1/3
こども関係の課 1/3



siteF- 道路管理事務所

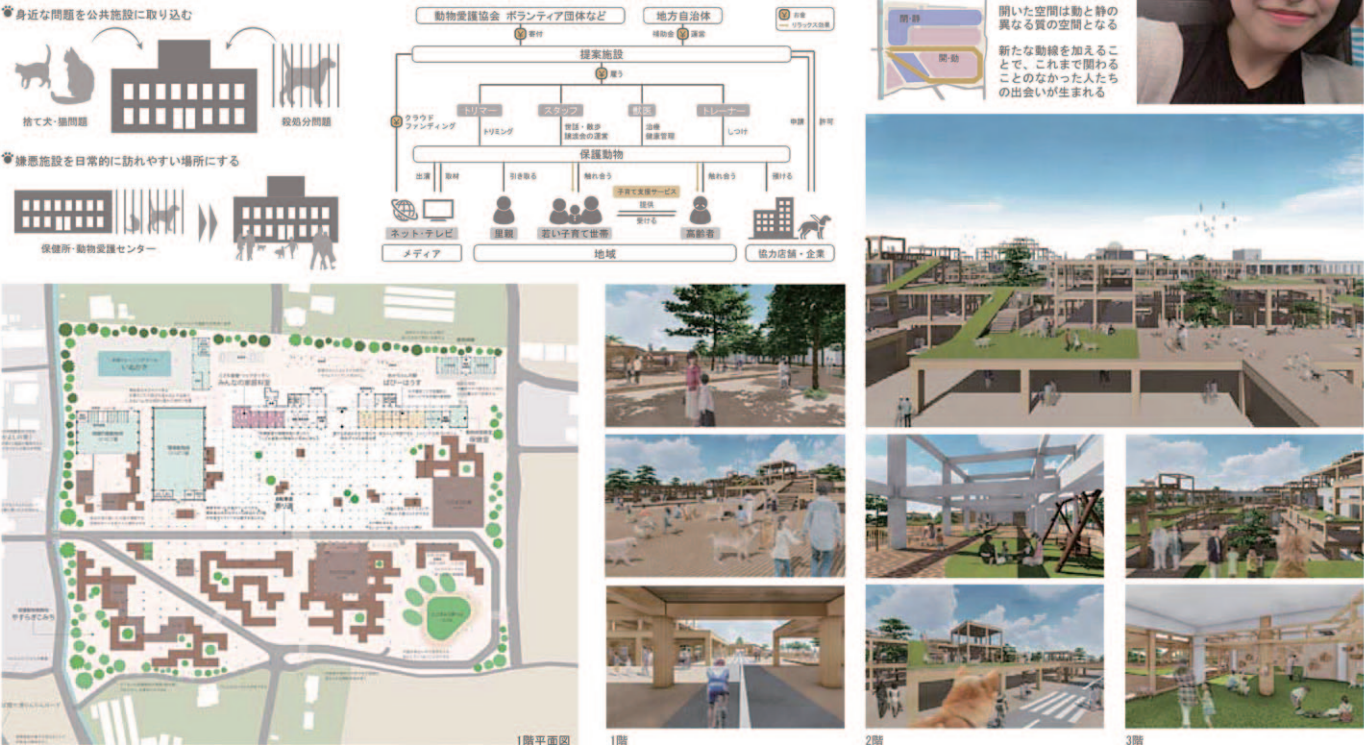
医療関係の課 2/3、農業関係の課 1/2
+ 飲食店



総合資格学院賞

芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 葛西 由樹
Re : Life -廃校活用による保護動物の殺処分問題の解決-

人間の都合で捨てられ、里親が見つからない限り死を待つ保護動物と、少子化の影響を受け、使われなくなった廃校に新たな居場所や価値を与える。そして保護動物たちと向き合い、その実態を知る場所と機会を創ることで動物たちの第二の人生のスタート地点となり、かつての学校が人と動物たちの命を考える場所として、社会教育の新たな使命を有した第二の人生を歩み始める。

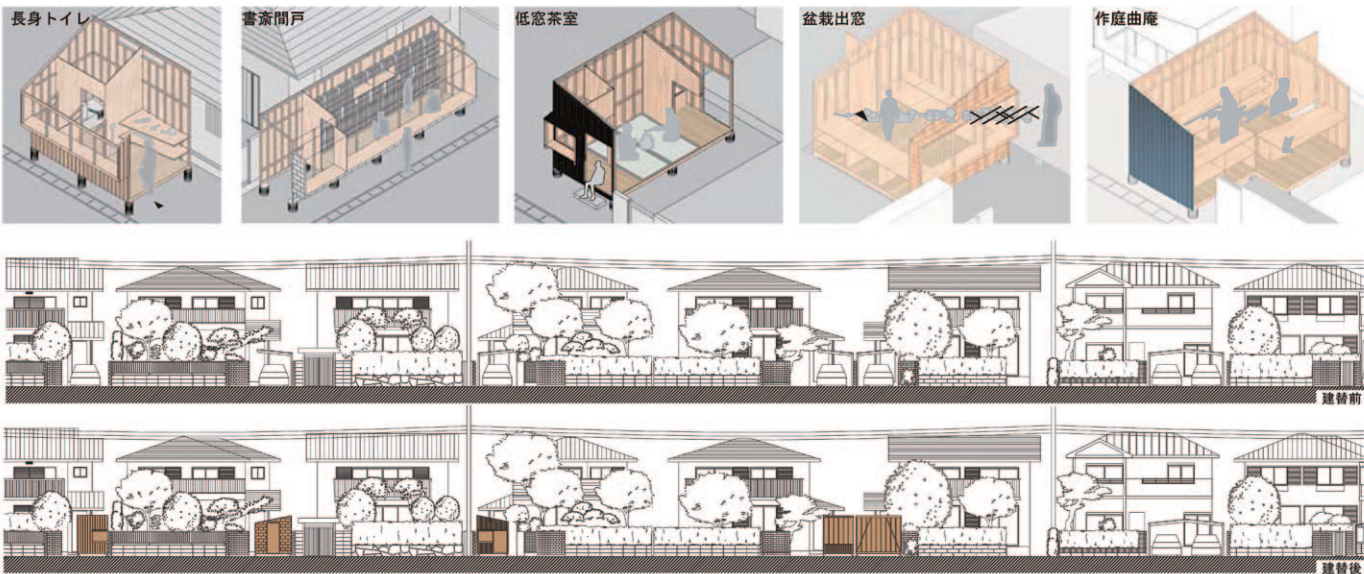


日建学院賞

日本工業大学工学部建築学科 坪倉 尚矢
10平方メートルからはじめる町おこし
駐車スペース跡でつくる趣味の溢れ出した住宅地の通り

「自動車運転免許証の自主返納」は、社会としては安全の問題である。しかし、当事者としては、これまで自家用車にもたらされてきた広い行動範囲や思い出が失われることから、心の問題でもある。さらに郊外住宅地を考えれば、道路際を彩る自家用車がなくなり、駐車スペースが空き、通りが閑散とする。ただ、このまち並みにとって絶好の駐車スペース跡を放っておいて、なにも家に閉じこもることはない。波乱の時代を生き抜き、免許の返納を選択した高齢者達は、自家用車の喪失を埋め合わせるように、自動車駐車スペース跡に趣味の小屋を建て始めるはずだ。それも競い合うように。

本計画は、こうした小屋によってつくられる次世代の住宅地のまち並みの可能性を、70年代に宅地化された埼玉県宮代町学園台のある通りをケーススタディとして、描いたものである。道路際に溢れ出す趣味とそこに集う高齢者たちは、通りに人の気配を取り戻す。これは、もはや10平方メートルからはじまる町おこしとしたい。



日建学院賞

ものづくり大学技能工芸学部建設学科 白澤 賢
Symbiosis -猫と暮らすシェアハウス-

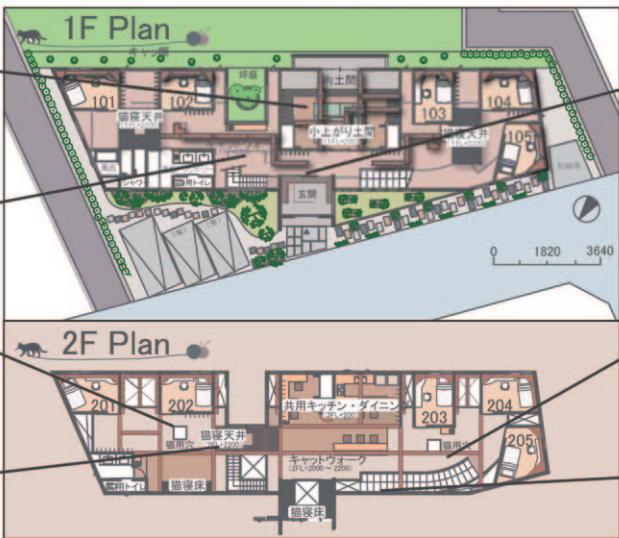
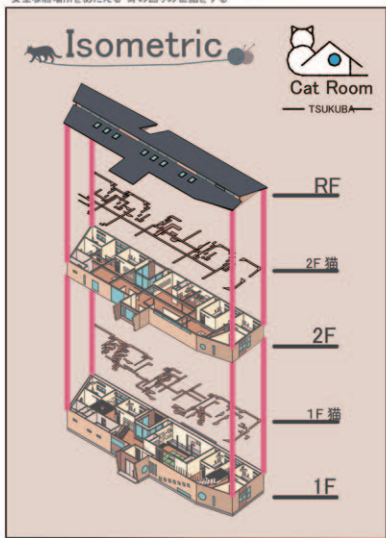


猫と人の関係性
幸せと癒しをもたらす



安全な居場所をあたえる・身の回りの世話をする

猫と一緒に暮らしているだけでも幸せと癒しをもたらしてくれる存在である。
本計画では『相利共生』をテーマに、猫と大学生が共生するシェアハウスを提案する。
人にとって素晴らしい存在である猫と暮らして、大学生活の充実化を図る。
猫と人が相互に利益を得ることができる相利関係であることに着目し、猫と人が快適に暮らせる空間を作り出す。



卒業設計コンクール参加者一覧（奨励賞）

埼玉県をテーマにした作品

染野 奈菜	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	まぜこぜ保健室 ～ケアからひろがる地域の居場所～
富永野乃花	日本大学 生産工学部建築工学科	展開
川邊 嵩大	日本工業大学 工学部建築学科	フラワーヒル・結の街 活動と人が染み出る住宅地へ
橋本 佳奈子	日本大学 生産工学部建築工学科	つながり保育 -高架下利用の提案-
星野 大貴	東洋大学 理工学部建築学科	URAWA Art colony ～芸術と文化の発信地～
田島 悠斗	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	異文化共生 -「外国人」から「〇〇さん」へ-
島田 崇弘	ものづくり大学 技能工芸学部建設学科	Minimal street housing 渡りゆくアドレスホッパーの暮らし-埼玉県行田市の足袋蔵エリア改修計画-

自由作品

劉 文彪 (小池 明)	東洋大学 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科	隣社
川口 郁也	東京電機大学 理工学部建築都市環境学系	これからの働く場所 -再び目指す、自立型衛星都市-
小松崎 楓	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	向こう三軒両隣の再編 -不安の共有による新たなつながり-
岡本 衛	東京電機大学 未来科学部建築学科	FolPod
廣木 千咲子	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科	巡る通学路 -子供の居場所づくりの物語-
川上 芳輝	東洋大学 理工学部建築学科	企業城下町再編計画 -まちと企業の接点のデザイン-
亀井 礎	東京電機大学 未来科学部建築学科	交わる伝統 -桐生市の織物産業を再発信する提案-
福村 玲奈	東京理科大学 理工学部建築学科	本でうまれる -本で生まれる出会いと本で埋まれる建築-
和賀 一弥	日本工業大学 工学部建築学科	渋谷建築・都市文化アーカイブ 都市における自由な居場所の継承
米ヶ田 里奈	東京電機大学 未来科学部建築学科	誰かの靴を履いてみること -児童養護施設と新小岩ルミエール商店街によるまち計画
舘洞 遼人	日本工業大学 工学部建築学科	記憶と出会いの思いが継がれる -鎌ヶ崎津波避難-
古岡 ひなの	東京電機大学 未来科学部建築学科	LINK -社会の裏側に張り巡らされる秘密基地空間-
小宮 莉奈	日本大学 生産工学部建築工学科	きづく -流れる音楽、彷徨う私、見つめる物語-
小池 健藏	ものづくり大学 技能工芸学部建設学科	Catharsis ～渴望する地域交流拠点～